令和6年度長崎県学力調査 〈壱岐市の結果の概要〉

1 目的

本県独自の学力調査を実施することにより、児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、各学校における児童生徒への教育指導の充実や改善等に役立てるとともに、県及び市町の教育施策の成果と課題を検証して学力向上対策の一層の充実を図る。

2 実施対象

- 小学校調査…第5学年（国語、算数）、第6学年（理科）
- 中学校調査…第2学年（国語、数学）、第3学年（英語）

3 実施日

令和6年4月18日及び4月19日

4 結果の状況

校種 学年	教科	平均正答率		成果・課題（成果は○、課題は●）
		壱岐市	長崎県	
小学校 第5学年	国語	58.0	57.8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「知識・技能」の観点結果は、県平均を上回っている。 ○ 県が重点課題として示す「自分の考えを支える事例を書く」が、県平均を上回っている。 ● 「話すこと・聞くこと」の領域である「自分が聞きたいことの内容を明確にして質問する」「話の中心が明確になるよう話す」が、県平均を下回っている。 ● 県が重点課題として示す「中心となる語や文を見付けて要約する」については、県の平均を下回っており、市においても課題が見られる。
	算数	69.0	68.6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「知識・技能」の観点結果は、県平均を上回っている。 ○ 県の重点課題である「図形の性質を理解し、面積の求め方を考える」については、県の平均を上回っている。 ● 数量関係に着目し、関係を式に表す設問では、県の平均を大きく下回っている。 ● 県が重点課題として示す「割合の意味を理解する」については、市においても課題が見られる。

校種 学年	教科	平均正答率		成果・課題（成果は○、課題は●）
		吉崎市	長崎県	
小学校 第6学年	理科	51.3	53.5	<p>○ 「生命」領域の「植物の発芽」や「魚の受精」については、正答率が高く、県平均を上回っている。</p> <p>● 「エネルギー」「粒子」「地球」の領域において、県平均を下回っている。</p> <p>● 「天気の変化」においては、県平均を大きく下回っている。</p> <p>● 「温度変化に伴う金属の体積変化」については、正答率が低く、県平均も大きく下回っている。</p>
中学校 第2学年	国語	59.0	62.1	<p>○ 「読むこと」領域において、県とほぼ同じである。</p> <p>○ 「文章を比較し、共通点を捉える」設問の正答率は高く、県平均も上回っている。</p> <p>● 県が重点課題として示す「話の展開を捉え、条件に合わせて書く」ことについては、市においても課題が見られる。</p> <p>● 「漢字を正しく読む」ことについて、県平均を大きく下回っており、改善が必要である。</p>
	数学	52.9	57.4	<p>○ 「図形」領域において、「対称移動の性質」については、正答率も高く、県平均を上回っている。</p> <p>● 「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点における結果が県平均を下回っている。</p> <p>● 県が重点課題として示す「数学の用語の意味を正しく理解する」や「データの分析の傾向を読み取り、批判的に考察し判断する」ことについては、市においても課題が見られる。</p> <p>● 「関数」の領域において、「数学的に解釈し、解決方法を説明する」設問では、正答率が低く、県平均も大きく下回っている。</p>
中学校 第3学年	英語	36.1	41.4	<p>○ 「単文レベルの英文を正しく聞き分ける」設問においては、正答率が高い。</p> <p>● 「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点における結果が県平均を下回っている。</p> <p>● 「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の領域において県平均を下回っている。</p> <p>● 県が重点課題として示す「目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取る」「目的に応じて、自分の考えを英語で書く」については、正答率が低く、県平均も大きく下回っている。</p>